

春光台地区センター祭り【7月1日(日)】

藤高祭【7月7日(土)】

お誕生日おめでとうございます

祭 第13回 花の夏祭り【7月29日(日)】

地域のお祭りの地区センター祭りがあり、ホットドックや焼きそばなどたくさん食べて、太鼓や歌などを聞いてきました。「太鼓だ、すごい音だわ〜でもいいね！」と手拍子され「アンコール、アンコール…」と声を上げられその場を楽しんでいました。大好きなビールも飲み、歌いだすほどご機嫌な方もいて楽しむことが出来ました。

藤高祭に行ってきました。旭川藤女子高等学校出身のさんは、毎年とても楽しみにされています。車から降りると、まずは昔大変お世話になったクサベラレーメン先生の銅像の前に行き、お辞儀をされておりました。また、校内に入ると、木本校長先生に花を代表して「今日は有難うございます。宜しくお願いします。」と、挨拶をされておりました。来年から藤高として男女共学になり、藤高としては最後の学園祭でもあります。さんにも来年から藤高の名前が変わり男女共学になる事をお伝えすると「いいしょ！お祝いせんとならんね！」と温かい目線でエールをおくっていました。学園祭は、いっぱい食べて、色々見て、沢山のお土産を買ってとても楽しく過ごしてまいりました。

7月2日 さん
97歳のお誕生日
皆さんから祝福の言葉を頂き「あら〜ありがとうございます」と、笑顔がこぼれます。プレゼントを貰い袋の中を見て「ずいぶんいっぱい入っているね〜と驚き、「これイイね！」と中のエプロンが気に入ったようです。また、お孫さんからのプレゼントとメッセージに、感謝の気持ちを表していました。

晴天の下『花の夏祭り』を開催いたしました。入居者様も何日も前からあわただしくお祭りの準備をしているスタッフを目にしなが、自分たちも花笠音頭に使う紙花を丁寧に作ったり踊ったりしながら気分を盛り上げていました。当日は勢いのある太鼓が鳴り響き開会です。そして施設長より「この夏一番のこの暑さに気を付けてゆっくりとくつろいでください」と挨拶があり、夏祭りが始まりました。入居者様は、春光台ふれあい太鼓を聞いて昔の思い出を回想して涙を流される方がいたり、北の大地の迫力のあるよさこいの演舞に「やっぱり慣れているんだね、お化粧も上手！」と綺麗な姿を細かくチェックしたり、実高吹奏楽部のドリフのメドレーでは「あれ見て！すごいねー！！」話され、ノリノリと一緒に歌ったり早口言葉行ったりみなさん思い思いに楽しんでいました。そして一番幸せ感が伝わってくるのは、ご家族様が横にいることが何にも代えがたいひと時とお見受けしました。この日は、どの方に聞いても「いい天気ですね！！」と帰ってきます。今回猛暑の為、残念ながら入居者様の花笠音頭と会場の皆さんとのゲーム大会を取り止めたさしていただきましたが、最後のビンゴ大会とスイカ争奪ジャンケン大会は大変盛り上がりしました。『花の夏祭り』は、色々な方の善意で成り立っています。ご協力いただいた皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。



夜間想定火災避難訓練【7月19日(木)～24日(火)】

いつ起こるか分からない火災や災害に備えて避難訓練を行いました。元気な方は外に素早く誘導を行い、足の弱い方の代りにベンチや米袋を布団に包み、床や階段を滑らせながら避難を行っています。この日はとても暑い日でしたので表にアイスクリームを用意して皆さんで召し上がって頂きました。入居者様からはとても好評で「また訓練しようね！」と話が出ていました。



流しソーメン 始めました！
やっと暑い日がやってまいりました。グループホーム花恒例の流しソーメンの始まりです。「ここ一番いい席ねー、何取ろうかしら…」「ほれ！来ているよ！」「上手に取れないわぁ〜あはは…」「おいしい！！」と声が出ていました。今回もいろいろなモノを流しています。素麺、ウインナー、カニかま、味付き玉子、ラッキョ、バナナ、キュウイ、トマトなど次から次へとたくさん流れてきてお腹を満たしていました。



施設長コラム
～ 熱い 熱い 熱い！
でも野菜は生き生き！！～
この連日の暑さの影響で畑の作物が生き生きしてきました。畑の守護神案山子『ゲゲゲの鬼太郎』も立ちました。やっと見栄えの良い畑に変わり、また『花の夏祭り』も終わり、ホッと一息です。この夏は、全国的に気温が高く40℃を超える地域もあり猛暑が続いています。これは、チベット高気圧と太平洋高気圧が強まり、ぶつかり合って温かい空気が地表で圧縮されることで気温が高くなる環境が生まれているそうです。分かり易く言うと日本列島が二枚の毛布をかぶっている様なものだそうです。「日照りに不作無」と言います。入居者様が収穫を楽しめる夏にしたいと思っています。皆様急激な暑さにはお体をご自愛ください。